

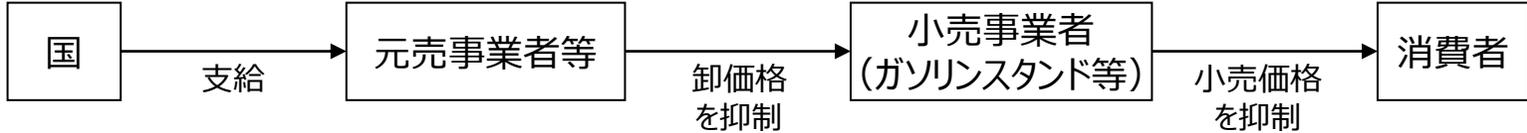
# 燃料価格高騰対策についての検討状況 (報告)

令和4年4月

資源エネルギー庁 資源・燃料部

# 燃料油価格高騰に対する激変緩和事業の延長

## <事業概要>

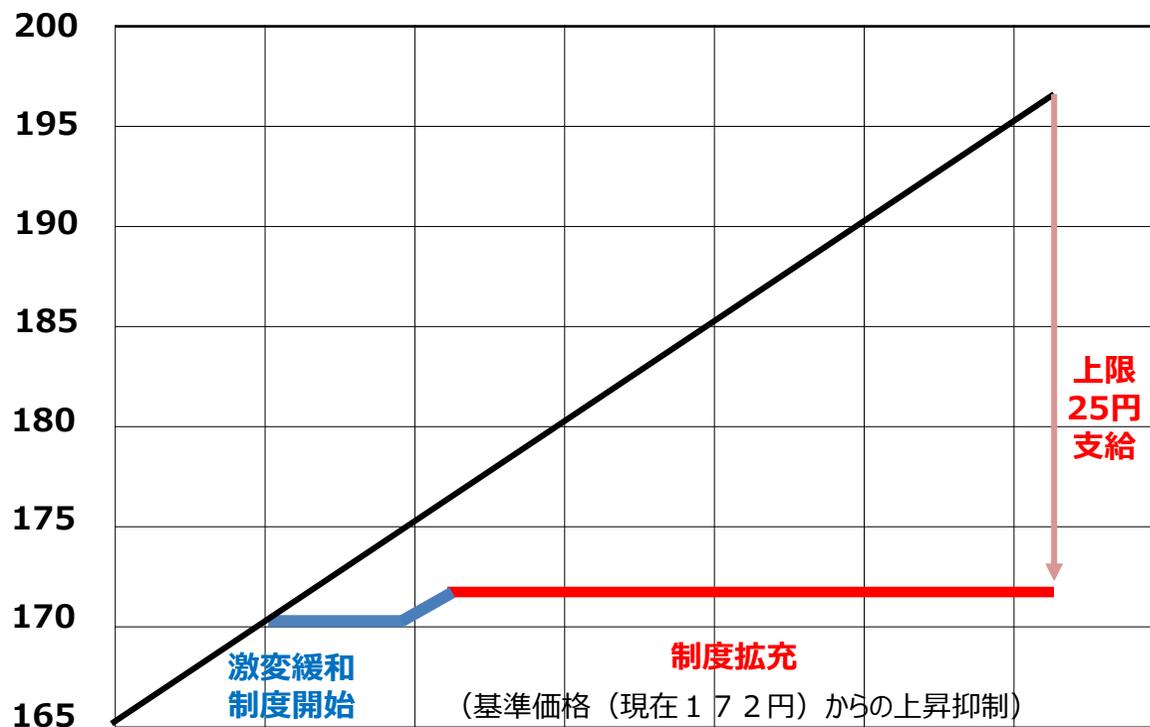
- コロナからの経済回復の重荷になる事態を防ぐため、時限的・緊急避難的な激変緩和事業
- レギュラーガソリン価格が基準価格（172円）を超えた場合、基準価格を超えた分を最大25円の範囲内で補填  
（元売事業者・輸入業者に価格抑制の原資を支給し、卸価格の抑制を通じて、小売価格の急騰を抑制）
- 対象油種はガソリン、軽油、灯油、重油
- 事業期間は、4月末まで ・ 予算規模：893億円（エネルギー特会）+3,500億円（一般会計）
- スキーム 

```
graph LR; A[国] -- 支給 --> B[元売事業者等]; B -- "卸価格を抑制" --> C["小売事業者 (ガソリンスタンド等)"]; C -- "小売価格を抑制" --> D[消費者];
```
- 補助金が小売価格に適切に反映されているかSS約2.9万事業所の全数調査などにより実態調査する

# 燃料油価格高騰に対する激変緩和事業の延長

- ウクライナ情勢に伴う原油価格高騰による国民生活や経済発動への影響に機動的に対応すべく、当面の間の緊急避難的措置として実施している激変緩和事業を4月末まで延長する。
- 予算規模は3,500億円の令和3年度一般会計予備費を引き続き活用する。

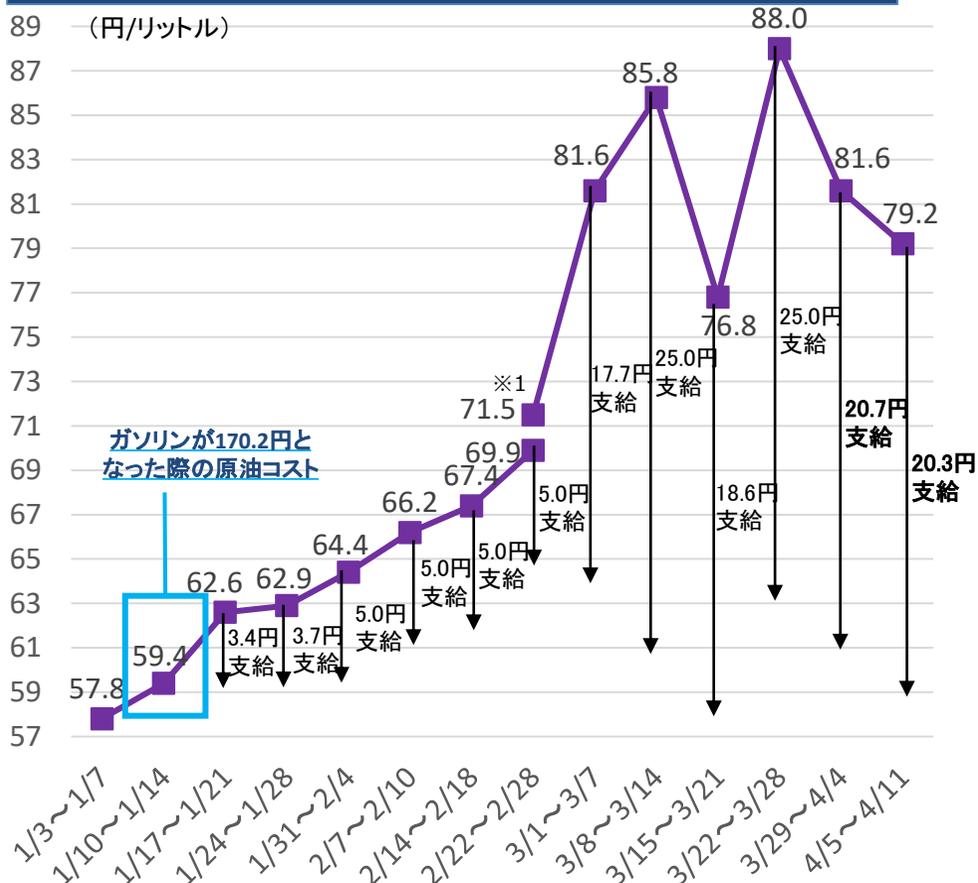
ガソリン価格  
(円/リットル)



# ガソリン全国平均価格への激変緩和事業の効果

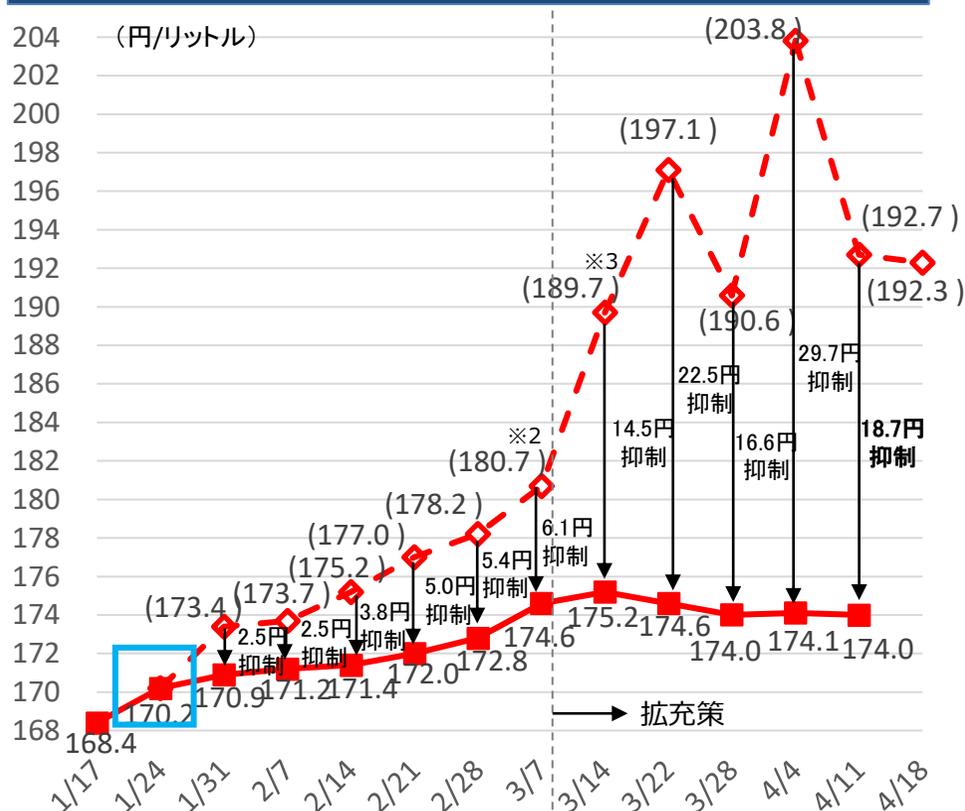
- 直近の原油価格の上昇分から、4月11日のガソリン全国平均価格は192.7円となると予測されていたが、激変緩和事業の発動により「▲18.7円」と抑制され、174.0円（前週比-0.1円）となった。
- 来週18日（月）のガソリン全国平均価格は、直近の原油価格の変動分（-2.4円）から、192.3円と予測されるため、急激な価格上昇を抑制するよう、14日（木）以降の支給額は、**20.3円**とする。

## 円建てドライ原油価格（週平均）



※1：拡充策に伴い2/22の週分から円建てドライ原油価格の週平均を月～金から火～月に変更

## レギュラーガソリン・全国平均価格



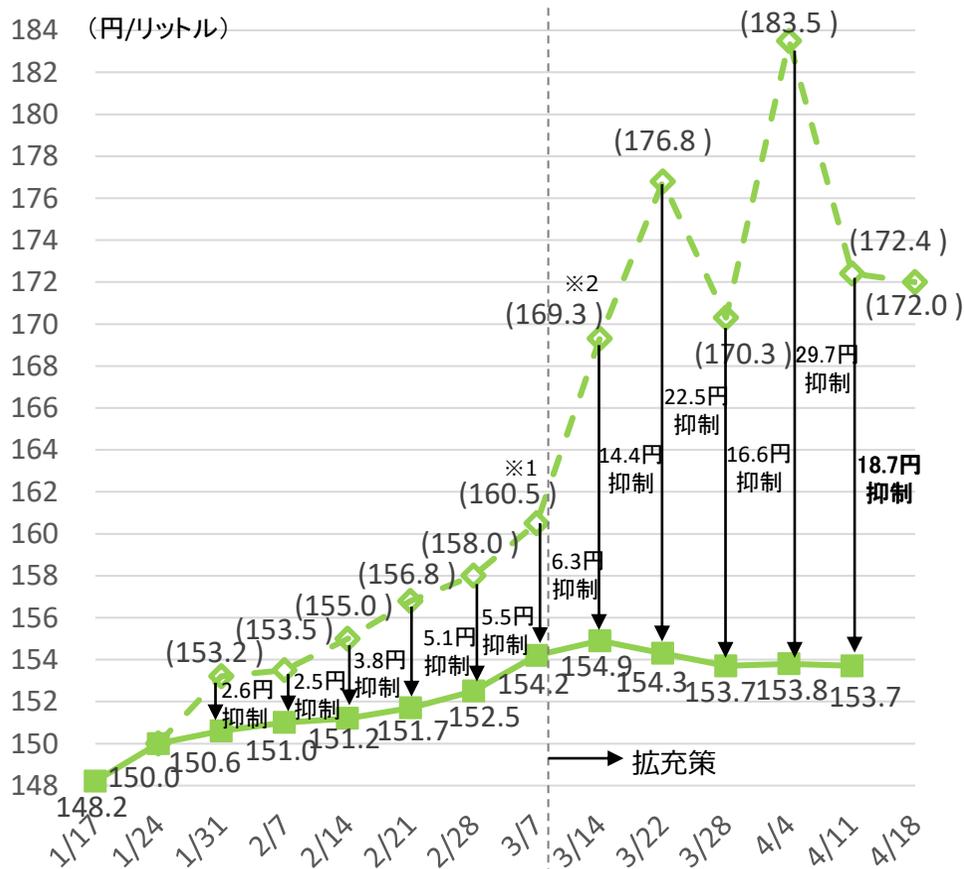
※2：1/31~3/7の予測価格の算出方法は、(1/24の価格調査結果) + (原油価格変動分を累積したもの)

※3：3/14以降の予測価格の算出方法は、拡充策に伴い(毎週の価格調査結果) + (前週の支給額) + (原油価格の変動分)

# 軽油・灯油の全国平均価格への激変緩和事業の効果

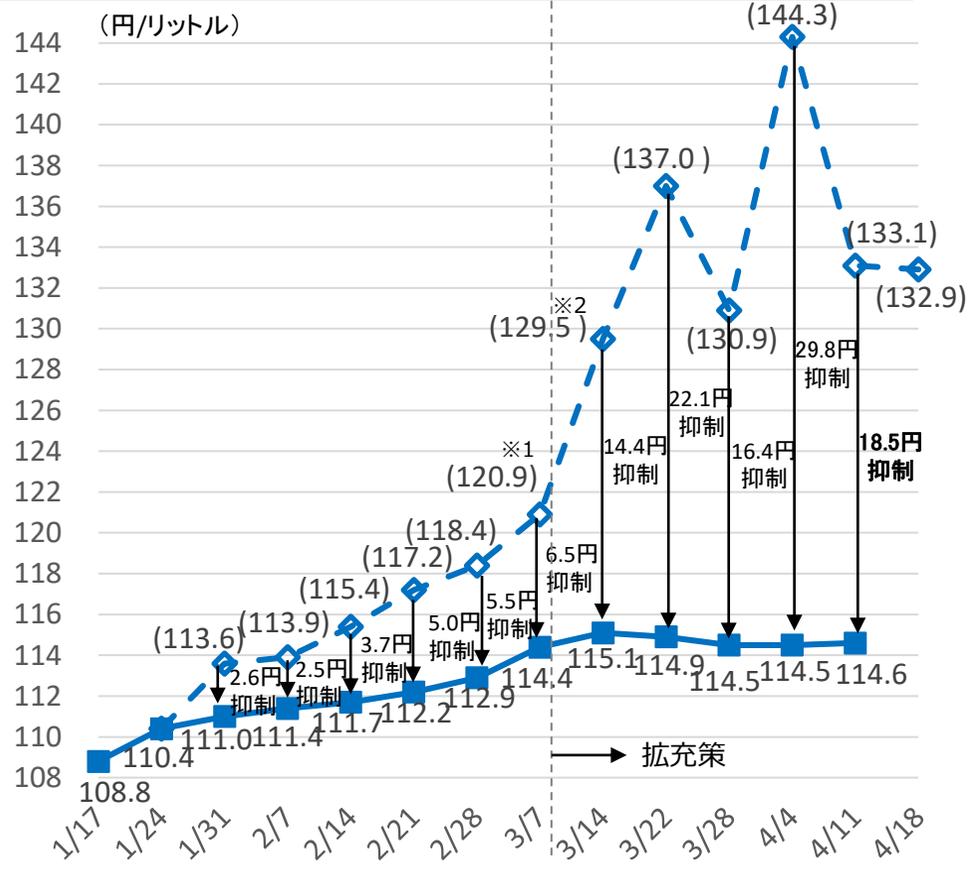
- 直近の原油価格の上昇分から、4月11日の軽油の全国平均価格は172.4円、灯油の全国平均価格は133.1円となると予測されていたが、激変緩和事業の発動により**軽油は「▲18.7円」、灯油は「▲18.5円」**と抑制され、軽油153.7円（前週比-0.1円）、灯油114.6円（前週比+0.1円）となった。

## 軽油・全国平均価格



- ※1：1/31～3/7の予測価格の算出方法は、  
(1/24の価格調査結果) + (原油価格変動分を累積したもの)
- ※2：3/14以降の予測価格の算出方法は、拡充策に伴い  
(毎週の価格調査結果) + (前週の支給額) + (原油価格の変動分)

## 灯油・全国平均価格



- ※1：1/31～3/7の予測価格の算出方法は、  
(1/24の価格調査結果) + (原油価格変動分を累積したもの)
- ※2：3/14以降の予測価格の算出方法は、拡充策に伴い  
(毎週の価格調査結果) + (前週の支給額) + (原油価格の変動分)